

熊本市長

幸山 政史 様

# 要 望 書

「熊本地区へのICカードの導入」

について

平成 23 年 8 月 11 日

熊本商工会議所

平素より地域経済の発展・活性化のため多大なるご支援・ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、県内景気動向は、3月11日に発生した「東日本大震災」により、企業活動の停滞・消費マインドの減退など経済の縮小が危惧されており、全ての業種におきまして大震災の影響を受けているとの調査結果もございます。

そのような厳しい状況の中、整備決定から約40年の歳月を経て九州新幹線が全線開業し、新幹線がもたらす経済効果については官民あげて大いに期待されているところでございます。

その一方、九州新幹線を活用したビジネスは、これまで以上に都市間競争の激化をもたらし、消費者の県外流出などによる経済全般への影響が懸念されるところであります。

ご案内の通り、報道によると平成25年の春には主要10種類の交通系ICカードの相互利用が可能となり、広域化とともに利便性が向上すると伺っているところでございます。

このような中、熊本のICカードにつきましては、地元経済活性化のための商業系サービス機能の充実を図り、具体的には電子マネーやポイントサービスはもちろんのこと、電子クーポンや電子スタンプラリー等の様々な商業活性化策を地域の各商店街や商業団体が独自で自由に実現できる機能を有するものとし、モバイルICサービスなどの地元生活者にとっても利便性の高い機能を併せ持つようなICカードとすることが、公益の実現となり、消費低迷や通行量の減少等に悩む商店街等の活性化の切り札となるものと考えます。

したがって、ICカードの導入に当たり、利用者の利便性そして商店街の活性化さらには熊本の地域経済の発展のために、交通系ICカードと商業系ICカードの機能の一体化が重要なポイントと考えます。

また、導入に際しては、必要となる窓口機器についても、多くの事業者が設置できるよう、安価なものとなりますよう希望いたします。

つきましては、ICカードの導入に当たり、交通系と商業系の付加機能の重要性をご理解賜り、早期導入にかかるご支援方よろしく願いいたします。

平成23年8月11日

熊本商工会議所  
会頭職務代行者  
副会頭 古莊 善啓

副会頭 永田 浩夫